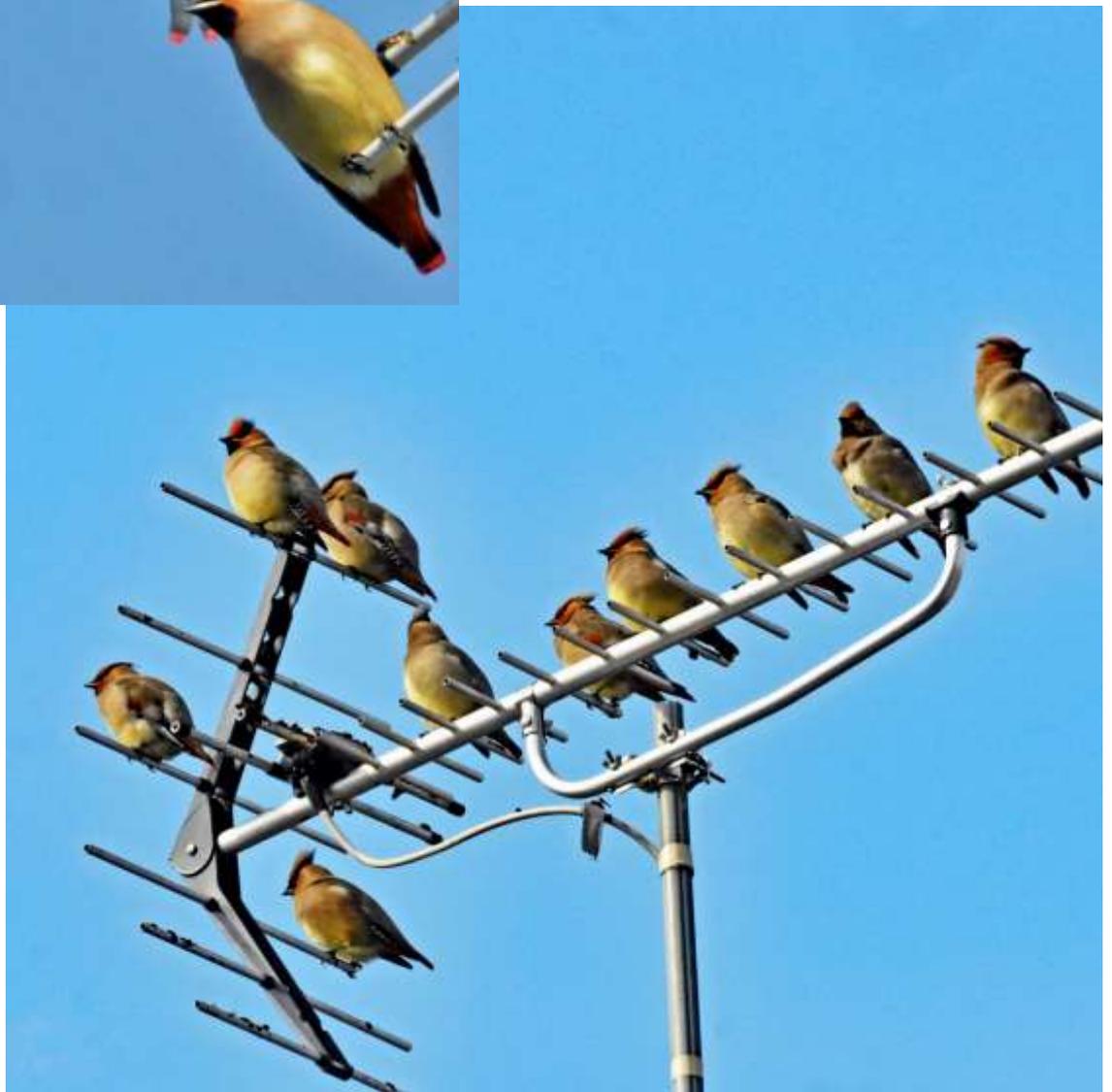


## 久しぶりにヒレンジャクがやってきた！

ヒレンジャクは中国東北部やシベリアなどに生息するスズメ目レンジャク科の渡り鳥で、冬にやってきます。雑食性で日本では果実を食べています。私が初めて出会ったのは2011年1月13日でした。観音原団地のど真ん中で見かけたときは「こんなところにヒレンジャクが」と、ずいぶん驚いた記憶があります。



2020年の春、高い木の枝に15羽ものヒレンジャクの姿が見られました。福田へやってきて、餌をとるタイミングを図るかのようです。2011年以来、久しぶりに見た光景です



ヒヨドリがいなくなると、果実の枝に降りてきました。



餌を求めて降りてきたところを、たくさん撮らせていただきました。



日本での食事は、特にネズミモチ、イボタノキ、ノイバラ、ヤツデ、ニシキギなどの実ですが、我が家の近くではピラカンサにやってきました。



後日、画像を見ていたら、白い模様（下の写真→部分参照）が微妙に違う個体があることに気がつきました。これでオス、メスが識別できるか、と調べてみました。しかし、幼鳥と成鳥でも模様が変化するように、識別の決め手とはなりませんでした。



雌雄の見分け方の一つに矢印の部分がL型で下部が赤くなっていれば♂といわれていますが、ほとんど白に近い個体もあるみたいです。

また来いよ！・・・気まぐれな性格？  
なので、いつになるかわかりません。

赤木通信員

